

第5号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行

檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX(52)1490
発行責任者 白山 尚
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

教員免許更新制

「存廃含めた議論必要」を言うが

中教審 小委員会



教委免許更新講習修了証明書

中央教育審議会（中教審）の第2回教員養成・教員免許更新制小委員会合同会議が5月24日に開催されました。文科省は、「教員免許更新制に依存し

に学び続ける姿を子どもたちに示す必要があるとして、「各コンテツを集約・提供するプラットフォーム」を構築し「任命権者等と教師の積極的な『対話』」をすすめるが、学びの成果を可視化し「全国的に証明できる仕組みの構築」を求めます。そのため

「学び」の質に関する議論では委員から、「養成、研修段階で学びの規格化が過剰に進み、元気を失って働くことにつながらない」「教師は任命権者や国から最適化されるものなのか？定められた目標に向かうのではなく、教師一人ひとりの『個別化』の

ない形を含めて、新しい仕組みづくりを構想する必要が指摘された」として、「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び（新しい姿の構想）を提起。教師自身が「個別最適化」された学びを「主体的」

にはデジタル技術の積極的な活用を前提として「履歴の管理や学びの可視化等を電子的に行うこと」等が重要と強調しました。

このように委員会での議論は、すべての教員の研修を国が一括管理する仕組みをつくることと紐付けて教員免許更新制の議論が行われる建付けになっていきます。そのため、教職員の負担増大や教員配置・未補充問題への影響などについて触れられな

過程が重要」といった意見が出されました。

免許更新制に関わっては、「講習を受けなければ免許失効。主体的な学びにならなければいけない」「最終的には免許更新に紐付けなくてもいい」「10年かけて単位認定して更新」などの意見が交わされました。

受けて、「更新制を存続するか廃止するか、一定の結論を出した上で議論を進める必要がある」とまとめられ、存廃を含めて次の委員会での議論することが確

認されました。

ただ、仮に廃止が打ち出されても、「新たな学びの姿の実現が前提となります。それは、現行の研修体系の比ではなく、生涯にわたって、あらゆる研修の履歴が管理され、全国統一の物差しによってランク付けされる」といった、国家レベルの教員統

制、教育内容に関わる統制そのものです。研修の自主性や自発性、民主制が著しく阻害されていく危険をはらみます。

教員免許更新制は条件なしに廃止すべきです。お届けの「廃止を求める要請署名」へのご協力を願います。

※全教・傍聴報告をもとに記事化（裏面に関連）

コロナ×こどもアンケート 第5回



国立成育医療研究センターの「コロナ×こどもアンケート」第5回調査の結果が、5月25日に公表されました。

「コロナのことを考えると嫌な気持ちになる」「すぐにイライラする」

「周囲に気づかれにくいこともある」として注意を呼びかけます。また、こどもたちの心身の健康が、この1年間で低下傾向にあるとするデータも紹介。こ

いやないちねんでかなしかった

が4割に上り、「集中できない」も3割強になります。2割のこどもが「自分や家族を傷つけてしまふ」と回答しました。（グラフ）

同センターは、「周囲に気づかれにくいこともある」として注意を呼びかけます。また、こどもたちの心身の健康が、この1年間で低下傾向にあるとするデータも紹介。こ

こどものこころの様子



「第5回 調査報告 ダイジェスト版」より

2021年度檜山合同教育研究集会 & 2021年度檜山民主教育研究会夏の研究集会

オンライン



8月17日(火) 19:00~20:30

◇実践報告 『感染症の歴史調べから劇へ』
山根里美さん(上ノ国小学校)



コロナ禍の今だからこそ学びたい一着想したのは、その昔、上ノ国町でも猛威をふるったスペイン風邪。調査活動を皮切りに最終的には学習発表会で劇として子どもたちがを演じることとなった、その経緯と実践の振り返り、さらにはこれからの授業づくりにつなげていきたいものは何か、教科や領域を横断する壮大な授業実践について存分に語っていただきます。

◆参加申込み

檜山合同教育研究集会をすすめる会事務局 内糸俊男
e-mailアドレス: khf04543@nifty.com

◆申込み期日 8/10

※別途お届けの開催案内をご覧ください。

主催(共催) 檜山合同教育研究集会をすすめる会・檜山民主教育研究会 TEL0139-52-0858

コロナXこどもアンケート 5

国立成育医療研究センター

1年を振り返って思うこと

写真は記事と関係ありません

気持ちに疲れた

●この1年間で社会がすっかりおかしな感じだと思ふ。効果のわからないような感染症対策(間違つたマスクの使用、中途半端な位置に置かれた邪魔なだけのアクリル板など)をどこに行つてもやつていて、それをやらぬ人は自己中扱いにされる。「新しい生活様式」がいつからか、誰もが何故でも守らなければならぬ最優先ルールになつていくのがおかしいです。(中)

1.北海道

●頑張つてるけどマスクが苦しい。なるべく取りたい。でも先生が怒る。友達も怒る。怖い人が増えた。お母さんとかの家族は外していいと言つてくれるから助かっています。汗でベタベタするし気持ち悪い。(小5・東京)

●親にも自分にも持病があるので、この1年間は自分の意思で学校へ行かず、ずっとお家で勉強しています。オンライン授業はなかなか進まないけれど、今はネットや電話でお友だちとも繋がれるので寂しくありません。感染対策の出来ていない学校へ行くことに比べれば、ストレスも全くありません。むしろ、自分でしっかりしなくちゃという意識が芽生えて、勉強やゲームや運動する時間、早寝早起きなど自分で決めて守ることができるようになりました。(小5・大阪)

●いやな1年でかたしかなかった。(小1・東京)

●もう死にたい。心の限界が近づいている。(中1・神奈川)

●嫌なことがあつても一人で抱え込んでしまふ、ついたり、嫌な言葉を書いてしまつたりすることがあり自分でも嫌になる。(小5・静岡)

●成長できたが気持ちに疲れた(中2・茨城)

●なんでもコロナだから...ばつかりで自分の行動や気持ちを制限されている気がした。せつかくの小学校生活最後の年なのに、なんだか悲しかった。大人は大人で、いろいろ大変なのかなと思つて、相談しづらくなつてしまった。みんな常に笑つてるときも心の中でイライラしている気がした。コロナが大人になつてもあつたら、人生が変わつちゃうかも思ふ。(小6・鹿児島)

●夕方におともだちとあそぶじかんがないから、つまらないし、おともだちと話がぜんぜんできない。せきがでちやつただけでも、コロナキヤー!ヤダー!つて言われていやな気持ちになつた。お母さんのお仕事がコロナの場所だから、お友達のお母さんに、近くに行つちやダメよ!つて言われたつて言つたから話してもらえなくなつて悲しかった。(小2・千葉)

●自分たちは密な場所を避けたり、大人数での会食(外食を控えたりなど)自分たちでできるコロナ対策をしていのに、大人だつたり政治家が夜に飲んだり遊んだりしていたというニュースを見る度に「なんで?」と思ふ。(呆れたり、情けないなと思つたりする)(高2)

真実と平和に立脚して

狙われる教科書



教科書展示。記事と関係ありません

侵略戦争を美化し、憲法を敵視する「新しい歴史教科書をつくる会」などの教科書は、「子どもたちにより良い教科書」という多くの声の広がりの中、採択率が激減しました。しかし「つくる会」系の教科書を推進しようとする動きが再燃しています。

一つは、先の検定で「著しく欠陥が多い」として不合格になつた自由社の中学歴史教科書が、再申請で合格したことに加え、文科省が「採択替えも可

能」とする通知を出したことにあります。4年に一度の検定以外の年は同一の教科書を採用することになっていますが、教育委員会の判断で採択をやり直しているという事になり、改憲勢力の「運動」に拍車をかけています。すでにいくつかが行われる見通しです。

今一つは、教科書の記述に対する政治加入です。「従軍慰安婦」「強制連行」などの用語が不適切として閣議決定され、歴史をねじ曲げるテコにされようとしています。「従軍」という言葉は自発的な意味合いを含むという事で、確かに不適切という見解が一般的で、実態を正確にするために「日本軍慰安婦」「日本軍性奴隷」という用語が使用されます。しかし、政府答弁は、「強制的に連行された」との誤解を招く」という議員質問への回答として示されており、意図をもつた政治介入そのものです。

歴史の歪曲は、歴史的にも国際的にも通用しません。偽りの歴史を子どもたちに教えることは断じて許されません。背景に改憲勢力の思惑があります。

学問の到達点を反映した教科書を子どもたちに手渡し、平和と真実に立脚した教育が行われるよう、ともに声をあげていくことを訴えます。

負担ばかりが

教員免許更新制廃止要請署名

私のおまじない

教員免許更新制廃止を求めます。研修は、校内外の他も積極的に行っています。時間外勤務削減を進めている中、この制度は更新が多忙化を招いています。

これまで寄せられた署名からいくつかを拾って紹介します。

教員免許更新制廃止を求めます。研修は、校内外の他も積極的に行っています。時間外勤務削減を進めている中、この制度は更新が多忙化を招いています。

融通も利かず、時間もかかり、お金もかかって、内容はあまり意味がないので必要なし。

制度そのものの矛盾はすでに明らかです。改めることに無用な時間を割くべきではありません。早期対応と理に適った英断を求めます。

受講費用、交通費など負担が大きい。教員自身が自費で学ぶ機会がほとんどない。更新制は意味がないと思う。

現場の職員は多忙化も急務です。この制度は、折々の負担を強いることになり、教員自身の健康や生活に悪影響を及ぼす可能性があります。



うれしいとき、かなしいときにあなたを応援します。

総合共済

月々 600円

さらに退職時には 掛金が全額戻ります!

- 結婚祝金に10,000円 ●出産祝金で5,000円
- 災害見舞金に10万円(全壊)など 他にもいろいろ